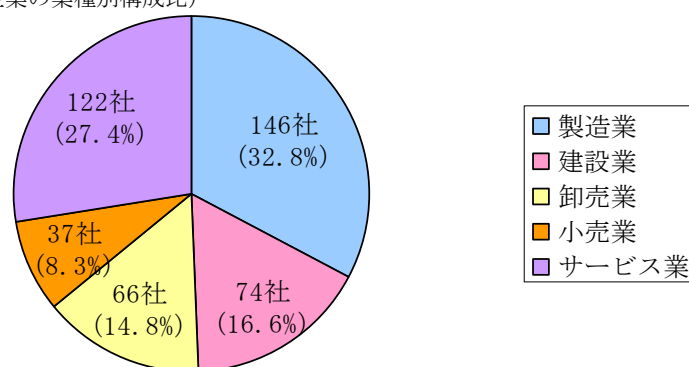


# 借入れ金利の上昇が中小企業に与える影響に関する調査結果

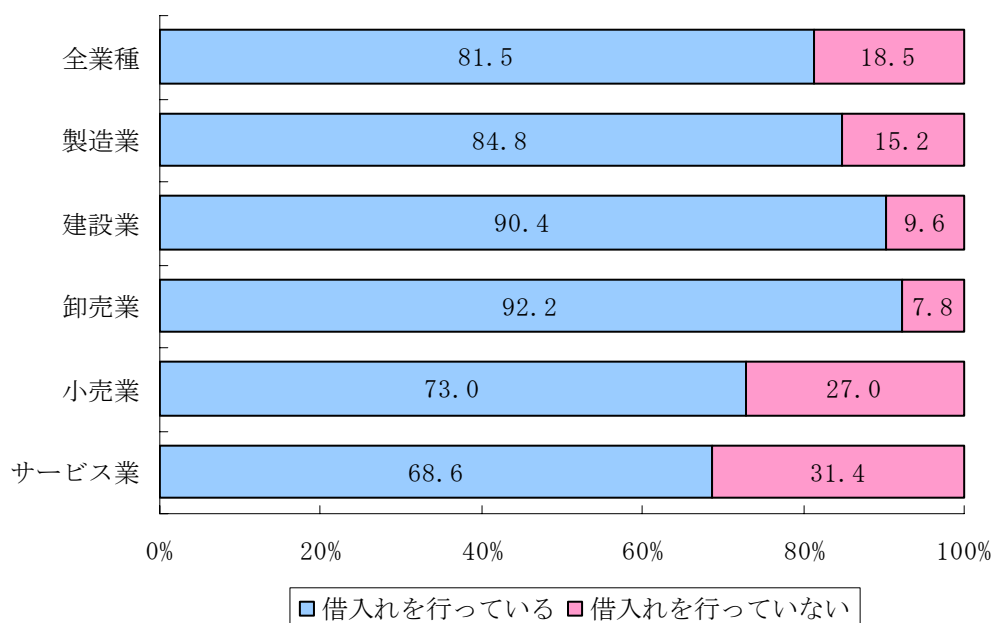
平成18年7月12日  
東京商工会議所

## 【アンケート調査の概要】

1. 目的  
借入れ金利の上昇が中小企業に与える影響を把握するため。
2. 調査期間  
平成18年6月2日～6月8日
3. 調査対象  
会員の中小企業（資本金3億円以下）1746社
4. 調査方法  
ファクシミリによる回答  
(有効回答企業の業種別構成比)
5. 回答数  
445社 (25.5%)



## 【質問1】金融機関からの借入の有無（単一回答）

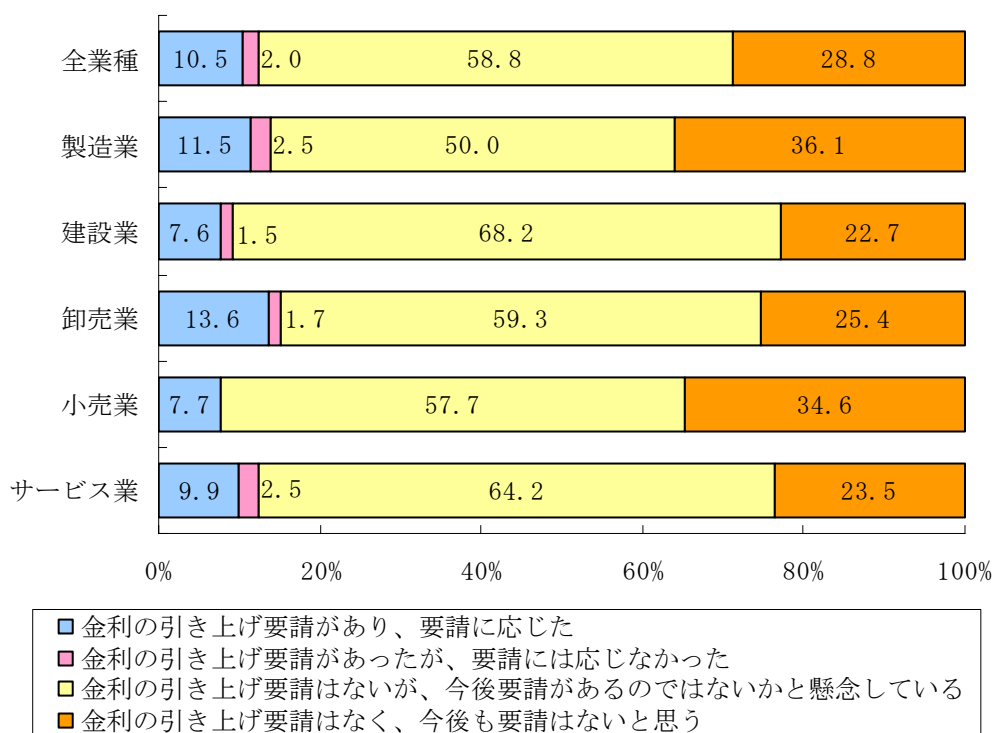


(有効回答企業数: 437社)

- ・ 8割の企業が金融機関から借入を行っている。

## 【質問2】金融機関からの金利引き上げ要請の有無（単一回答）

＜質問1において「借入れを行っている」と回答した356社が対象＞

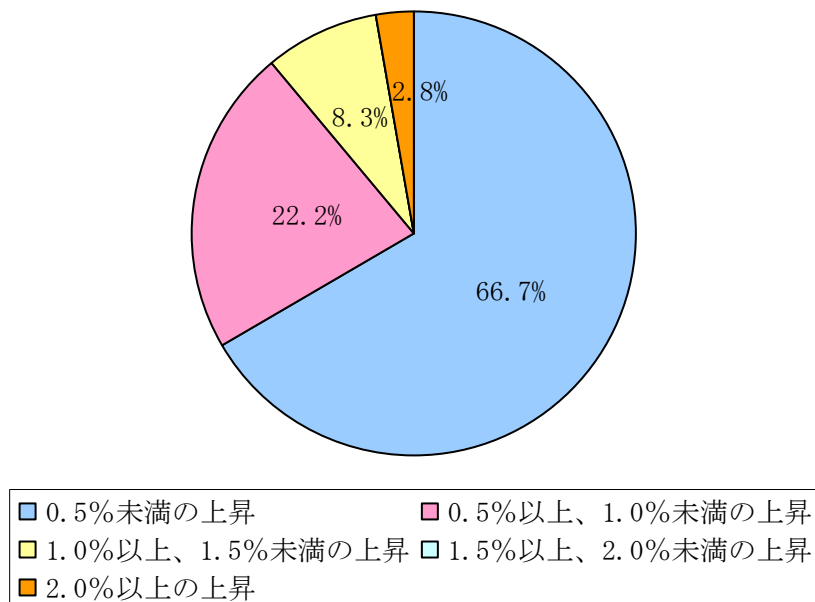


（有効回答企業数：354社）

- ・「金利の引き上げ要請があり、要請に応じた」企業は10.5%に止まるものの、「金利の引き上げ要請はないが、今後要請があるのではないかと懸念している」企業は58.8%に達している。
- ・業種別では、「金利の引き上げ要請があり、要請に応じた」割合が製造業（11.5%）、卸売業（13.6%）で若干高くなっている。また、建設業では、「金利の引き上げ要請はないが、今後要請があるのではないかと懸念している」割合が68.2%に達している。

【質問3】金融機関からの金利引き上げ要請に応じた結果、今年に入って上昇した金利  
(単一回答)

＜質問2において「金利の引き上げ要請があり、要請に応じた」と回答した37社が対象＞

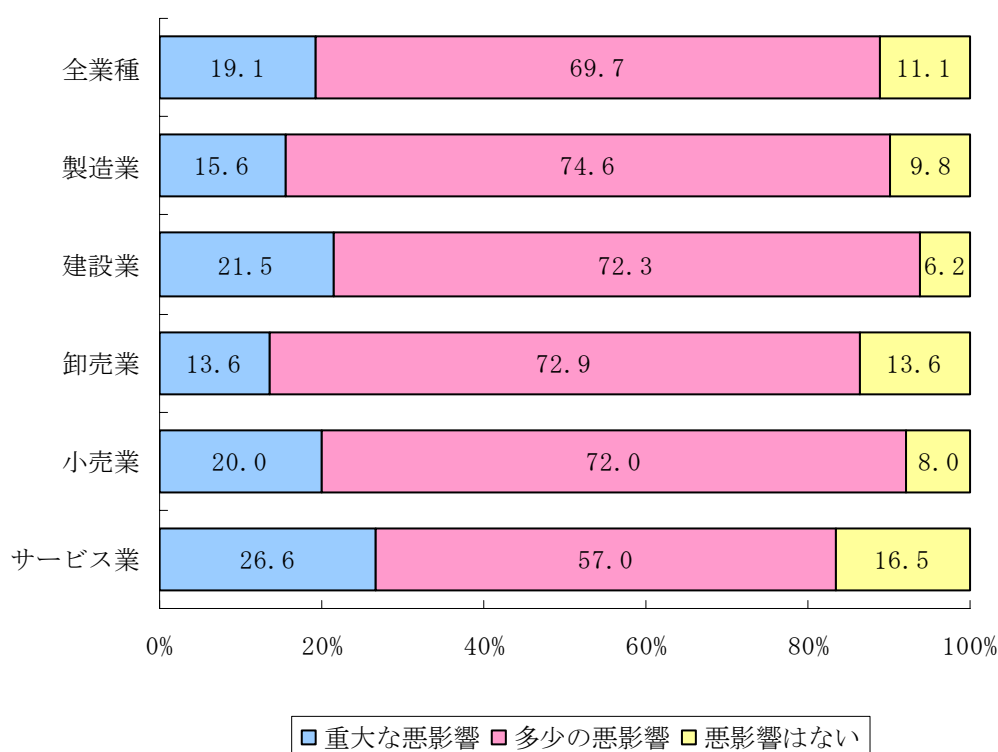


(有効回答企業数:36社)

- ・「0.5%未満の上昇」が66.7%、「0.5%以上1.0%未満の上昇」が22.2%を占めている。

#### 【質問4】金融機関からの借入れ金利上昇による業績への影響（単一回答）

＜質問1において「借入れを行っている」と回答した356社が対象＞



（有効回答企業数:350社）

- ・金利の上昇により業績に悪影響が生じると回答した企業は 88.9%（「重大な悪影響が生じる」19.1%、「多少の悪影響が生じる」69.7%の合計）に達している。
- ・業種別に見ると、建設業において、金利の上昇により業績に悪影響が生じると回答した割合が 93.8%（「重大な悪影響が生じる」21.5%、「多少の悪影響が生じる」72.3%の合計）と高くなっている。また、サービス業において、「重大な悪影響が生じる」と回答した割合（26.6%）が高くなっている。

※全ての質問について、割合は四捨五入を行っているため、必ずしも合計が 100.0%にならない。